

編集方針

伊藤忠商事として初めてCSRレポートを発行するに当たり、当社及び伊藤忠グループが一体となってCSRを推進していくために、本業でどのようにCSRを進めていくかを議論し、7つのディビジョンカンパニー*が主体となって策定したCSR目標（CSRアクションプラン）を中心に、掲載しています。また、有識者の方をお招きしたステークホルダーダイアログを開催し、当社が社会において果たすべき役割について議論するとともに、CSRアクションプランについての評価やご意見をいただいています。

本レポートの作成に当たっては「環境報告書ガイドライン（2003年度版）」（環境省）、及び「サステナビリティ・リポートニング・ガイドライン2002」（Global Reporting Initiative）を参考にしました。

*伊藤忠商事は繊維、機械、宇宙・情報・マルチメディア、金属・エネルギー、生活資材・化学品、食料、金融・不動産・保険・物流の7つからなるディビジョンカンパニー制を採用しています。本レポートで「カンパニー」と記載しているのはこれらのディビジョンカンパニーを示すものです。

対象期間

2005年度（2005年4月1日～2006年3月31日）の実績ですが、活動や取り組み内容は一部直近のものも含まれます。

対象範囲

伊藤忠商事株式会社（国内18店、海外135店）及び主要グループ会社を含みます。

発行日と次回発行予定

2006年7月（次回：2007年7月予定）

問い合わせ先

伊藤忠商事株式会社
CSR・コンプライアンス統括部 CSR推進室
TEL:03-3497-4064
FAX:03-3497-7769
E-mail:tokcr@itochu.co.jp

目次

会社概要	1
編集方針/目次	2
トップコミットメント	3-4
伊藤忠商事のCSRとは	5-8

カンパニーごとのCSRアクションプラン

繊維カンパニーのCSRアクションプラン	9-10
機械カンパニーのCSRアクションプラン	11-12
宇宙・情報・マルチメディアカンパニーのCSRアクションプラン	13-14
金属・エネルギーカンパニーのCSRアクションプラン	15-16
生活資材・化学品カンパニーのCSRアクションプラン	17-18
食料カンパニーのCSRアクションプラン	19-20
金融・不動産・保険・物流カンパニーのCSRアクションプラン	21-22

ステークホルダーダイアログ

経営体制

コーポレートガバナンス	27
コンプライアンス	28
CSRマネジメント	29-30

社会性報告

取引先との関わり	31-32
従業員との関わり	33-35
社員とのコミュニケーション	36
社会貢献活動	37-38

環境報告

事業投資と商品取引における環境アセスメント	39
より良い社会に貢献する循環社会型ビジネス	40
環境活動の方針と推進体制	41

GRIガイドラインと本報告書の対照表	42
--------------------	----